

ぶっかけ試験

最近、特にケミカルコントロールは、いわゆる「栽培屋さん」の主要な仕事になってきている感があるが、この傾向はなにもわが国だけではないようで、外国の報告にも多く見受けられる。この種の試験は、化学薬品をただぶっかけて、その後比較的簡単（ではない場合もあるが）な調査や測定をやればよいことから、自他ともに多分にさげすみの意を込めて「ぶっかけ試験」と称している。

果樹についてのケミカルコントロール技術の中で、成功の最たるものは、ブドウのジベレリン処理であろう。デラウェアは今や全く別の新しい品種に生まれ変わったといってもよく、また東京都農試育成の立川1号もジベレリン処理を前提としてはじめて成立する品種であるが、これらはいずれも「ぶっかけ試験」の産物である。しかしながら、今だにジベレリンの無核果形成や無核果粒の肥大効果については、十分な理論的解明がなされていない。けれども、若干の問題点があるとはいえ、実用技術として立派に通用している。

したがって、高遠な理論はともかくとして、ケミカルコントロールを実用的な技術として定着させるためには、「ぶっかけ試験」に始まって「ぶっかけ試験」に終わるといってもよく、この場合大切なことは確実な試験を積み重ねることであろう。

（農林省園芸試験場果樹部長 千葉 勉）

目 次

パキスタンの農業

まえがき	2
1. 西パキスタンの気候・風土	2
2. 農 業	4
3. パキスタンの作物保護	7
あとがき	8

農林省農事試験場畑作物部 中山兼徳

園芸作物に対する

生長調節物質の利用（1）

—欧米における研究の側面をみて—

1. ワーゲニンゲン農科大学	9
2. 複細胞生理学研究所	10
3. イーストモーリング試験場	11
4. ロングアッシュトン試験場	12
5. ユニバーサリティ研究所	13

鹿児島大学農学部助教授 岩堀修一

施設栽培における果菜類用除草剤

1. トマト、ナス、ピーマン

① ジフェナミド	16
② クレダジン	17
③ アラクロール	18
④ トリフルラリン	18
⑤ CMMP	18
⑥ DC-55	19

2. キュウリ、スイカ、メロン

① NPA	20
② パラコート	20

新除草調節剤

B-3015・プロメトリン除草剤	21
------------------	----